

特集:現代若者気質

Part1:



変貌を続ける若者言葉

●永瀬 治郎(専修大学文学部教授)

オトナには何が何だかわからない若者言葉は、いつの時代にも存在し、その時代を映す鏡である。変貌を続ける若者言葉を通して、現代の若者像を浮き彫りにする。

Part2:



若者は「自画自賛」世代

●坂川 山輝夫(現代コミュニケーションセンター所長)

単なるジコチューなのか、未知の可能性を秘めているのか。頭を抱えるオジサン管理職の数も増える中、若者の行動様式を鋭く分析し、どのように指導していくべきかを具体的に解説する。

Part3:



期待できるぞ! 未来の若者

●寺脇 研(文部科学省官房審議官生涯学習政策局担当)

2002年度より施行される新学習指導要領のもと、児童・生徒の学習環境が大幅に変わるにより、若者は良い方向へ変化していくと断言する。今、話題の論客が語る理想の若者教育とは。

Part4:



わかつちやいるけど「自己優先」

●大学生1000人に聞く・日常生活のモラルとマナーに関する意識調査

「他人がしたら許せないが、自分のわがままは許せる」。一昨年7月、首都圏の大学生を対象に行なわれた意識調査で、こんな傾向が浮き彫りになった。

Part5:



ばらばらになった帰属意識 - 自己優先的わがまま世代の若者たち -

●石崎 徹(専修大学経営学部助教授)

電車の中で携帯電話を使う。床に座り込む、化粧する。目の前の他人は気にならないが、自分の所属する集団の中では他人の目を気にする。かつて存在した「暗黙の了解」という社会への帰属意識がばらばらになっている。

「アドニス」は年会費を納入して頂いている校友の方を対象に、送付させて頂いております。